

Symposium: December 7, 2019

# 生活の芸術化、芸術の生活化

The Art-ification of Life, and the Life-ification of Art

登壇者：

藤田治彦（神戸芸術工科大学芸術工学部教授）

鞍田崇（明治大学理工学部准教授）

モデレータ：伊村靖子（IAMAS講師）

「公共性」の概念を歴史的な視座で捉える時、19世紀後半のウィリアム・モリスのデザイン運動の中に「新しい市民のためのデザインとは何か？」という問いを見出すことができるでしょう。日本では20世紀に入り柳宗悦が、近代化による文化の画一化を批判し、諸地域の豊かな文化が分散的に共存する社会を理想として掲げました。ウィリアム・モリスと柳らの民藝運動がもたらした生活文化への視点から、現代のデザイン環境を考えます。

